

【校訓】 「実行力」

【学校教育目標】

「人との関わり・つながりの中で自分を高める 実行力の育成」  
～集団や地域での学びを、「なりたい自分」につなげる 強さを育てる～

他者と積極的に関わり、一人一人のよさや多様な見方・考え方に触れる  
よりよい集団の中で、協働し、豊かな経験を積み、自尊感情を育む  
集団や地域のよさを知り、さらによりよい社会を創造しようとする

→自分を見つめ、他者の考えや集団の状況を把握する中で、  
「なりたい自分」に向けてのよりよい方向や方法について、

しっかり考え、                      自分で決めて、                      実行する                      心の「強さ」を育む

思考力                      主体的な判断力（自律）                      実行力（実践力・表出力・アウトプット）

【目指す学校像】 安心して力を発揮することを支えられる学校

- ・わかる喜び、できる喜び
- ・よりよい人間関係
- ・集団・地域への所属感

【目指す子ども像】 「なりたい自分」を目指してがんばる子【考える・決める・実行する】

友だちのよさを認められる子  
集団や地域を大切にする子

【目指す教職員像】 一人一人の子どもを徹底的に大切にする教職員

協働し、互いに高め合う教職員  
組織的連携の中で、主体的に判断し、実行できる教職員

**【重点的に 育成すべき資質・能力】**

教科横断的な視点で、あらゆる教育活動の中で重点的に育成する

〔知識及び技能〕

言語の特質を理解し、適切に用いることができる力

〔思考力、判断力、表現力等〕

多様な考えを手がかりにして、自分の考えを持ち、主体的に判断・表現する力

〔学びに向かう力、人間性等〕

学びの振り返りを生かして、さらなる自己実現を目指す自己決定ができる力

**【道徳教育重点目標】**

自他を見つめ、よりよい生き方を目指して、主体的に判断できる子どもの育成

**【重点内容項目】**

**A：善悪の判断，自律，自由と責任**

**【基盤となるもの】** 人権教育 「一人一人を徹底的に大切にする」

○わかる喜び，できる喜び【自己実現】【自己決定】

○よりよい人間関係 【共感的な人間関係形成】

○集団への所属感 【社会参画】【自己存在感】

→学校生活の中で，一人一人が，「なりたい自分」に向かって，安心して力を発揮できる

#### 知：授業改善

- 学校教育目標，育成すべき資質・能力を基盤にしたカリキュラム・マネジメント
- 全員に届く授業づくりと，主体的な学習態度の育成
- 共に学び合う意義の重視
- 授業と連動させた家庭学習

#### 徳：道徳教育の充実

- 学校の教育活動全体を通じて，全教職員が行う道徳教育
- 特別活動における，「意思決定」「道徳的実践」の重視
- よりよい集団づくりを通して，相互理解・共感的な人間関係を深め，自尊感情を高める  
取組の実践
- 振り返りと目標設定を通して行う「自分づくり」

#### 体：子どもの命（安全・健康）を守りきる教育の徹底

- 命を守り切る覚悟
- 安心，安全な学校づくり
- 見逃しのない観察・手遅れのない対応・心の通った指導
- 安全教育・保健教育・食に関する指導等の充実  
(自己指導能力・生活習慣形成力・タイムマネジメント力の向上)

## 【支えるもの】

### ① 確かな学級経営・学年経営

- ・ ルールの徹底：R u l e
- ・ よりよい人間関係：R e l a t i o n

集団への所属感を高める：「この集団において、よかった」

### ② 錦林小学校教育の伝統を大切にす

- ・ 地域との連携を深める
- ・ 保護者や地域の方々の「地域愛」「学校愛」に感謝し、子どもの学びにつなげる
- ・ 国語教育，図書館教育，情報教育，キャリア教育，道徳教育等の積み上げを大切にす

### ③ 家庭との連携を強める

- ・ 「子どもを中心にすえた」丁寧な取組
- ・ 家庭へのはたらきかけと理解を得るための工夫
- ・ 家庭学習の内容の充実

目的の明確化と計画性      日々の授業との連動      自学自習の習慣形成

## 【さまざまな課題克服のために】

### ① 組織力と問題対応力の強化

報告・連絡・相談の徹底      情報の共有，可視化  
組織的なリスクマネジメント・クライシスマネジメント  
問題に対応できる一人一人の      思考力・判断力・実行力の向上  
【考える・決める・実行する】

### ② 安全で清潔，整理整頓の行き届いた環境づくり

安心・安全で，ムダのない，効率の良い教育活動につなげる

### ③ 働き方改革

教育活動の一層の充実のため，教職員が子どもと向き合う時間を確保し，いきいきとやりがいを持って働くことのできる環境をつくっていくため